

次号予告

特集 内部疾患の理学療法・作業療法

呼吸器疾患の理学療法..... 都養育院病院 金子 美奈子
 呼吸器疾患の作業療法..... 国立療養所・東京病院 佐々木 光 子
 虚血性心疾患の理学療法..... 府中リハ専門学校 高橋 正明・他
 合併症として尿路感染をともなう理学療法・作業療法

上の注意..... 神奈川リハセンター 増田 聡 子

パーチェット病の運動療法..... 帝京大 滝野 勝 昭

とびら顔..... 近畿中央病院・リハ学院 鈴木 ふみ代

講座 教育学シリーズV, 教育心理(1)..... 慶応大学 松本 憲

失語症 3. 失語症者の訓練..... 太田総合病院熱海病院 赤坂 謙

プロGRESS CPに対する整形外科手術..... 聖母整肢園 梶浦 一 郎

特殊教育..... 筑波大学 三澤 義 一

Recommended 〈理学療法部門〉臨床神経学..... 東京病院付属リハ学院 伊藤 直 栄
 Readings 〈作業療法部門〉動作分析と作業療法..... 甲州中央温泉病院 斎藤 延 男

文献抄録

編集後記

読者に第6号をお届けする。特集の内容は筋萎縮性疾患であるが、総論とし筋萎縮性疾患とリハビリテーションを上田氏が執筆された。各論では、失天性筋ジストロフィーの運動療法を菊地氏が担当され、知能、言語面において障害を伴うケースの多い先天性筋ジストロフィーの運動療法の意義、実際について症例を挙げながら、かなり細かなところまで書いて戴いたことは企画者として大変喜ばしい。

施設における筋ジストロフィー症の運動療法は鈴木氏・他が執筆され、Duchenne型歩行児を中心とした運動療法について、装具療法や運動負荷量の問題も取り上げて書かれた内容は読ませるものが多い。

在宅ジストロフィー症児の訪問指導については、工藤氏がDuchenne型筋ジストロフィー症児における在宅指導方法として執筆された。

8症例を取り上げて、家庭内における療育の観点から比較検討されている。

作業療法の立場から清水氏が、筋萎縮性側索硬化症患者の作業療法を書かれ、ADL面における各種動作やコミュニケーションに対するいろいろな工夫例を紹介されている。

筋ジストロフィー症児の就労と教育について、それぞれの立場から随想が2つ書かれているが、PT, OTにとって重要な事柄が述べられており、大いに勉強になるであろう。

講座は沼野氏の教育方法も3回目になり、その内容もいよいよ佳境に入ってきたようである。

失語症もその評価が2回目となりこの後も大いに期待されるところである。

Physiotherapyのまとめも大変御苦労であったと思われる。

読者の一層の御指導、御鞭撻をお願いしてこの筆をおく。(松村 秩)

＜編集顧問＞

天 児 民 和
九州労災病院長

五味 重 春
筑波大学心身障害学系教授

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院長

津 山 直 一
東京大学教授・整形外科

水 野 祥太郎
川崎医科大学学長

(五十音順、以下同じ)

＜編集委員＞

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
わらび診療所

大喜多 潤
兵庫県リハセンター

鈴木 明 子
府中リハビリ専門学校

寺 山 久美子
都心障センター

奈 良 勲
有馬温泉病院

福 屋 靖 子

松 村 秩
都養育院リハビリ部

＜編集同人＞

大 橋 博

大 丸 幸

金 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

駒 沢 治 夫

佐 藤 章

佐 藤 肇

嶋 田 智 明

高 橋 正 明

武 富 由 雄

谷 岡 淳

富 岡 詔 子

中 屋 久 長

藤 沢 しげ子

松 本 妙 子

丸 谷 隆 明

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

和 才 嘉 昭

(担当 細田・西塚)